

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	児童福祉事業収入	208,653,268	228,819,620	△ 20,166,352	
	経常経費寄附金収入	700,000	581,000	119,000	
	受取利息配当金収入	17,000	633	16,367	
	その他の収入	2,800,000	2,417,095	382,905	
	事業活動収入計(1)	212,170,268	231,818,348	△ 19,648,080	
	支出				
	人件費支出	142,069,652	140,646,133	1,423,519	
	事業費支出	30,562,200	29,769,190	793,010	
	事務費支出	11,827,640	11,294,590	533,050	
その他の支出	2,230,000	2,295,548	△ 65,548		
事業活動支出計(2)	186,689,492	184,005,461	2,684,031		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	25,480,776	47,812,887	△ 22,332,111		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	21,320,000	1,320,000	20,000,000	
施設整備等支出計(5)	21,320,000	1,320,000	20,000,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 21,320,000	△ 1,320,000	△ 20,000,000		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	22,792,250	11,976,100	10,816,150	
	その他の活動による支出	523,200	506,863	16,337	
その他の活動支出計(8)	23,315,450	12,482,963	10,832,487		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 23,315,450	△ 12,482,963	△ 10,832,487		
予備費支出(10)	0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 19,154,674	34,009,924	△ 53,164,598		
前期末支払資金残高(12)	0	35,535,536	△ 35,535,536		
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 19,154,674	69,545,460	△ 88,700,134		



「園内キャンプ」にて(令和6年7月30日～8月1日)

第15号 令和6年8月

〒920-1165

石川県金沢市若松町

3丁目116番1号

社会福祉法人 林鐘園

代表電話

076-262-3811

FAX

076-264-2982

Mail

rin@p2222.nsk.ne.jp

緑の美しい「せせらぎ通り」を眼前に、後ろには畑地や小さな森、この地に移転してきた林鐘園の立地が子どもたちの健やかな成長を見守ってくれているようです。

お兄さんと手をつなぎ、せせらぎ通りを元気よく歩いている子、指導員の先生と元気よく通学する一年生、「おはよう」の挨拶に、元気よく「おはようございます」と答えてくれる子、地域行事への参加、一斉美化デーのごみ拾いへの参加と地域に溶け込んでいる様子も見え、地域の一員として一安心です。

これも園長先生はじめ職員の皆様、指導員の先生方の日々のご尽力の結果と思います。

色々な事情を抱える子どもたちが安心して過ごせる場となるよう、地域の大人として見守って行きたいものです。

社会福祉法人 林鐘園

評議員 細川 幸恵

今年度は高校生以上の児童が14名、その内7名が高校卒業・短大卒業と社会に巣立つための準備を職員と一緒に進めています。夢に向かい希望を持って前進する子、一人暮らしを考えた時の不安を語り出す子、退所後の生活を親にどう伝えたらよいか考える子、様々な葛藤と闘っている姿が痛いほど感じられます。そんな子ども達と真剣に向き合う職員もまた子どもと共に悩み、子どもと共に苦しみ、時には抱えきれなくなって辛くなる場面もあります。職員が苦しい時、辛い時に声を出しあえる職場環境を大切に、子どもも職員も大切に関わっていきたくと思っています。

子どもたち一人一人が未来に向かって進み、躓いた時に周りの方々に助けてほしいと素直に声をあげ、助けて貰ったら素直に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えていけるそんな子どもたちでいてほしいと願っています。

社会福祉法人 林鐘園

園長 北村 幸子

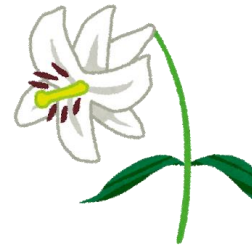
編集後記

直接間接問わず、何名かの方から「りんしょうえんたより」を楽しみにしているとの声を耳にするようになってきました。こうした言葉は大きな励みとなります。蔭口は人の心を痛めますが、温かい言葉、それも、面と向かわぬ間接的な形でいただいたものは、より一層、人々を励ましてくれます。8年前、たより第1号が創刊された頃から、園内では気持ちのいいコミュニケーションの取り方に関する研修が始まりました。言葉の質が人間の人生の質を高めてくれるとのこと。このフレーズを大切にしながら、毎日を過ごしていきたいものです。(書記 川端)



園の日常から

日々子どもたちと職員との関わりの中から、ホッと心温まるような場面をご紹介します。



年長女児の部屋に「赤ちゃん 赤ちゃんはどうして生まれるの？」（あかね書房）という絵本があります。これは赤ちゃんがどうやって生まれてくるのかが描いてある絵本です。年長女児はこの絵本が好きで読み聞かせると、「〇〇って何？」と質問するなど、真剣に絵本を読んでいます。

先日の話になりますが、年長女児が通う幼稚園からお誕生日会のお知らせがありました。誕生月の子どもの保護者も参加できる誕生会では、「子どもが生まれた時のこと」を保護者にインタビューしますという旨の連絡が入りました。

子どもが生まれた時のことは、職員である私たちにはわからないので、親御さんに電話で聞いてみると、年長女児を産んでくれた親御さんしか知らない当時のお話や思いをお話ししてくださいました。

年長女児にも分かりやすく伝えるためにお手紙形式にして渡すと、とても喜んで親御さんからの一文一文に反応して感想を話し、居室の壁に飾って読み上げている姿もあります。

その後、赤ちゃんの絵本を読むと「(自分も)ママのお腹の中にいたんだよ」と話しています。親御さんからの話を聞いている年長女児の表情は真剣そのもので、話し終えた後のとても嬉しそうな顔を思い返すと、誕生のルーツを知れることの重要性を強く感じました。

(保育士 橋本 晴香)



新人職員の声

令和6年度は新たに4名の職員を迎えました。現在、33名の職員(正規職員26名、非常勤職員7名)と26名の児童が寝食を共にしています。



林鐘園での勤務が始まり早4ヶ月が経とうとしております。

初めは戸惑いもありましたが最近では子どもの方からも声をかけてもらい嬉しく思います。その中でも子どもからの「美味しい」が一番の誉です。

前職の期間も含めると12年目になりますが日々勉強させて頂いています。

小舎制という形式において個々人における責任はとても大きいです。

しっかりとその責務を全うしていきたいです。
(指導員 松井浩平)

林鐘園に勤めて3ヶ月が経ちました。何もかもが未経験で、初めは千切りキャベツのやり方も分からなかったのですが、温かい先輩職員の方々が支えてくださり、子どもたちの純粋な優しさや言動に癒されながら日々、家事スキルを磨き養育職員として子どもたちと一緒に成長中です。

まだまだ慣れないことも沢山ありますが、子どもたちと沢山遊んで、子どもたちが幸せな毎日を送れるよう努めていきたいです。よろしく願いいたします。

(保育士 吉田麗亜)

今年度から入職した角蒼衣です。大学では教育学、特別支援教育について学びました。C棟で勤務させて頂いています。

先輩方には優しく丁寧に仕事内容を教えていただき、少しずつ慣れてきました。C棟の子どもたちは女の子が多く、好きなアイドルや音楽の話をするのがとても楽しいです。小学生2人は、元気で素直な子だなと思います。2人から元気もらいながら、楽しくお仕事させて頂いています。C棟の6人の子どもたちが、安心して楽しく生活できるように頑張りたいと思います。キャンプや白山登山など、子どもたちと色々な行事に参加するのがとても楽しみです。

新人として至らない点もたくさんあると思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。
(保育士 角蒼衣)

この度、ご縁があり林鐘園に勤めさせて頂きました。保育の世界は広いなと日々勉強させて頂いています。

児童養護施設は未知の世界で、正直自分に務まるか最初は不安でいっぱいでした。入って数ヶ月でいろんなつらい洗礼も受け、今も不安がないわけではないですが子どもから教えてもらう事もたくさんあります。

自分自身幼い時からの夢である保育士になり、子どもが大好きで『子どもと関わりたい、笑顔にしたい』をモットーに家庭的であたたかい、たくさんの愛情を子どもたちに伝えていけるよう、日々精進したいと思います。
(保育士 太田由香里)